

JR-EAST Innovation 2014 パネルディスカッション

## 「経営に資するデータ活用」 ICT based Business Management



世の中には、様々なデータが溢れています。このデータを価値化し経営に活かすことが重要となってきました。そこで、パネルディスカッションでは、「経営に資するデータ活用」と題して、ICT分野で先端をいく企業の方々にお越しいただきディスカッションを行いました。

最初にパネリストの方より自己紹介及びICTを活用した取組事例を紹介していただきました。

ヤマトホールディングスの田中様からは、NEKOシステムやバリュー・ネットワークング構想について、大阪ガスの河本様からはビジネスアナリシスセンターの紹介と現在取り組まれているミッションを、日立製作所の西野様からは新たな資源としての“データ”について、利活用含めた考え方を述べていただき

ました。その後、澤本よりJR東日本のデータ活用の現状について説明致しました。

ここで、パネリストの皆様から紹介していただいた取組み事例を基に、松島様に「“現場”の見える化」と「“経営”に資するデータ分析」という2つのキーワードを挙げていただき、それぞれのキーワードについて、パネリストの皆様と議論しました。

一つ目のキーワードである「“現場”の見える化」においては、田中様より“リアルタイム”にデータを収集し、データ分析を行い、これらをつなげることがカギとなる、西野様より、“リアルタイム”に対応するために、情報を共有するクラウド技術、情報を取得するセンサー技術、情報を守るセキュリティ技術が大切であると述べられました。

二つ目のキーワードである「“経営”に資するデータ分析」では、河本様より分析課題を見つけることの重要性やデータ分析でビジネスを変えようとする強い思いを、西野様には、現場の人から経営陣まで皆が同じデータを見ることの重要性、データを価値に変えるためには、目標設定が不可欠であると述べられました。

また、JR東日本からこれからの注目する技術は何かを伺った所、AI技術を挙げられ、データが多くなる中でAI技術を用いて、コンピュータに任せられることはコンピュータが行い、人間は経営判断を重点的に行った方が良いとも述べられました。

その後、澤本よりJR東日本の取組みを紹介させていただきました。

「“現場”の見える化」では、“グリーン情報システム”と“SNSの利用”でお客様の声の取得、“運転状況の可視化”として列車状況や混雑状況を、「“経営”に資するデータ分析」では、“データ分析における業務革新”としてCBMを紹介いたしました。その後、各パネリストの皆様からご意見を頂きました。

田中様より、情報提供をするとお客さまにもデータ（経験）が集まり、それに対して新たな問題が起きるのではないかという質問をいただきました。それに対し、澤本より、より正確な情報を提供していくため、臆せず努力していきたいと回答しました。

河本様より、数年前までは“データ分析でビジネスを変える”と思っていたが、今は“現場が勘と経験に加えてデータ分析も武器にして日本の現場力をレベルアップさせること”であると思っており、そのためには、現場の信頼を蓄積していかなければならないと述べられました。

日立の西野様からは、他社の成功事例を自社に置き換えて考えることの重要性、パートナーとのデータ共有の必要性について述べていただきました。

この後、会場で聴講されていた、イーアセットマネジメント社長のデーヴィス様に登壇して頂き、ICTで生み出す価値が何であるかを鮮明にしなくてはならず、その一手法としてアセットマネジメントが挙げられるとの言葉をいただきました。

議論のまとめを松島様に行っていただき、データ活用というのはヒューマン要素があるため、様々な課題があり、それをどう乗り越えていくかを考えていかなければならないと述べられ、最後に、澤本より、今回の議論させていただいたことを基に、積極的にデータの活用を進めていきたいと意気込みを述べ閉会いたしました。

パネリスト (順不同)



**松島 桂樹氏** Dr. Keiju Matsushima  
一般社団法人クラウドサービス推進機構  
代表理事  
Cloud Service Promotion Agency,  
Representative Board

1971年東京都立大学工学部電気工学科卒。  
日本アイ・ピー・エム(株)入社、製造業担当営  
業部門、CIM主任スペシャリスト、エンジニア  
リング・システム企画を担当。1995年岐阜経  
済大学経営学部、1999年経営学博士(専修  
大学)、2001年より武蔵大学経済学部、2014  
年退職して現職。主な著書:「IT投資マネジメ  
ントの変革」、「情報ネットワークを活用したモ  
ノづくり経営」。研究分野:IT投資マネジメ  
ント、IT経営、経営情報学、生産システム



**西野 壽一氏** Dr. Toshikazu Nishino  
株式会社日立製作所 執行役専務 CSO  
戦略企画本部長  
Hitachi, Ltd.,  
Senior Vice President and Executive Officer  
Chief Strategy Officer, General Manager

1980年 東京工業大学大学院理工学研究科  
物理学専攻修士課程修了。同年、日立製作所  
入社、中央研究所入所。2002年 中央研究所  
長、2005年(株)日立ディスプレイズ 常務取  
締役CTO。2008年(株)日立製作所 理事 再  
生エネルギー事業開発担当、2009年(株)ルネ  
サステクノロジ取締役、2011年(株)日立製作  
所 執行役常務 戦略企画本部長を経て、2013  
年4月より現職。



**河本 薫氏** Dr. Kaoru Kawamoto  
大阪ガス株式会社  
情報通信部 ビジネスアナリシスセンター所長  
Osaka Gas Co., LTD,  
Manager, Business Analysis Center

1989年京都大学工学部数理工学卒業、  
1991年京都大学大学院工学研究科応用シ  
ステム科学専攻修了、1991年大阪ガス入社、  
1998年米国ローレンスバークレー国立研究  
所にてデータ分析に従事、2005年大阪大学  
にて博士号(工学)を取得、2013年日経情報  
ストラテジー「データサイエンティスト・オブ  
ザ・イヤー」受賞。著書「会社を変える分析の  
力」出版。



**田中 従雅氏** Mr. Yorimasa Tanaka  
ヤマトホールディングス株式会社  
IT戦略担当シニアマネージャー 兼  
ヤマト運輸株式会社 情報システム部長  
Yamato Holdings Co., LTD, Senior Manager

1981年4月入社。1984年11月16日に発生  
した世田谷ケーブル火災を機に発足した広域  
災害対策PJに参加、以後、広域災害対策に従  
事し、1992年10月大阪センターを設立、現  
在の東阪2センター運用をスタートさせる。  
2000年に始まった第6次NEKOシステム  
(※)構築よりNEKOシステム責任者として従  
事、以後、NEKOシステムの開発・運用に携わ  
り、2011年4月より現職を担う。現在は次  
期「第8次NEKOシステム」の構築に取り組  
んでいる。

※NEKOシステム(New Economical Kindly Online System)  
ヤマト運輸のシステム全般を指す呼称



**澤本 尚志** Takashi Sawamoto  
東日本旅客鉄道株式会社  
常務取締役 CTO・CIO  
East Japan Railway Company,  
Executive Director, CTO & CIO

コーディネータ Coordinator

**尾高 達男** Tatsuo Odaka  
東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 総合企画本部技術企画部長 兼  
JR 東日本研究開発センター所長  
East Japan Railway Company,  
Director, Technology Planning Department  
Director General, R&D Center of JR East Group